

# 平成30年度 キウイフルーツ病害虫防除暦

J A佐渡・キウイフルーツ倶楽部

農業取締法では、農業使用者の責務や、遵守義務規定、努力規定が定められています。ルールを守って正しく使用しましょう。

【表示されている農薬の使用基準は平成29年11月末現在の登録内容です】

回数	散布時期	対象病害虫	使用薬剤	散布濃度	収穫前日数／総使用回数	薬剤調合法 (水100ℓ当たり)	散布量	注 意 事 項	防除 月 日	
1	剪定直後	花腐細菌病 かいよう病	コサイド3000	2,000倍	休眠期～養生期まで ／－	水－展着剤 コサイド3000	50g	200 (300)	1. 日焼け、凍害対策として、ホワイトンパウダーを根際部、太枝にていねいに塗布する。 2. コサイド3000に代えてICボルドー66D 50倍でもよい。 3. 養生期は新梢長約10cm	月 日
2	4月中旬 (発芽直後)	花腐細菌病 かいよう病	アグレプト水和剤	1,000倍	90日／4回	水 アグレプト	100g	200 (250)	1. 花腐細菌病、かいよう病多発園では、4月下旬にカスミン液剤400倍液(90日／4回)を散布する。 2. かいよう病防除のため防風対策を徹底する。	月 日
3	5月上～中旬 (出蕾期)	花腐細菌病 かいよう病	アグリマイシン-100	1,000倍	落花期まで ／3回	水－展着剤 アグリマイシン	100g	200 (250)	1. 花腐細菌病耕種防除 (1) 通風、採光をよくする。 (2) ナス、インゲン豆、たばこなどの寄生作物を栽培しない。 (3) ヨモギ、ノボロギク等の雑草に寄生するので、園及び周囲の除草を行う。 (4) 剪定枝は早めに埋没する。	月 日
4	5月下旬 (開花直前)	花腐細菌病 かいよう病	アグリマイシン-100	1,000倍	落花期まで ／3回	水－展着剤 アグリマイシン	100g	300 (350)		月 日
臨時	5月下旬 (開花直前)	カイガラムシ類幼虫	アプロード水和剤	1,000倍	前日／2回	水 アプロード	100g	300 (350)	1. カイガラムシ多発園では散布する。	月 日
5	6月中旬 (満開7日後)	クワシカバラムシ 果実軟腐病	スプラサイド水和剤 トップジンM水和剤	1,500倍 1,000倍	60日／3回 前日／5回	水 トップジンM スプラサイド	66g 100g	300 (350)	1. 袋掛けをすると各種病害虫の被害が軽減されるので早めに行う。 2. コウモリガの発生に注意し、幼虫の食入防止のため雑草を刈り取り株元をきれいにするとともに、食入後の幼虫は捕殺する。 3. かいよう病多発園では、6月中～下旬にカスミン液剤400倍液(90日／4回)を散布する。 4. かいよう病対策として、着果過多、多肥を避ける。	月 日
6	6月中～下旬	果実軟腐症	ロブラール水和剤	1,500倍	前日／4回	水 ロブラール	66g	300 (350)		月 日
7	7月上旬	果実軟腐病 カイガラムシ類 キヒメヨコバイ	ダコニール1000 モスピラン顆粒水溶剤	1,000倍 2,000倍	60日／7回 7日／3回	水－展着剤 ダコニール モスピラン	100ml 50g	300 (350)		月 日
臨時	8月下旬～ 9月上旬	果実軟腐病	トップジンM水和剤	1,000倍	前日／5回	水 トップジンM	100g	300 (350)	1. この時期に降雨が多い場合は臨時散布する。	月 日
8	9月上～中旬	キヒメヨコバイ	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	7日／3回	水－展着剤 モスピラン	25g	300 (350)		月 日
(収穫後及び剪定後防除)										
9	11月下旬～ 12月下旬	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後～果実肥大期 まで ／－	水－展着剤 コサイド3000	50g	300 (350)	1. 初発園では収穫後から落葉前にカスミン液剤200倍液(収穫後～落葉前／1回)を樹幹注入する方法がある。(実施する場合は、指導機関に相談してください) 2. コサイド3000に代えてICボルドー66D 50倍でもよい。	月 日
臨時	11月下旬～ 12月上旬	カイガラムシ類	機械油乳剤95	14倍	－	機械油乳剤 水	7ℓ	250 (300)	1. かいよう病対策として、剪定鋏はアルコール消毒しながら使用する。 2. 剪定は年内に終了し、切り口にトップジンMペースト(塗布は3回以内、散布は5回以内)を塗る。 3. 剪定枝、枯枝は果実軟腐病の伝染源となるので土中に埋めるか、園外に持出す。	月 日

防除上の注意

アグリマイシン-100は、落花期までの使用とする。 除草剤も下記薬剤以外使用しないこと。  
スプラサイド水和剤およびダコニール1000は収穫前日数に注意(収穫前60日) 2剤とも7月中旬に散布を終えること。

- ・ 農薬使用前にラベル記載の使用上の注意事項をよく読み、その内容を必ず守ること。  
(農薬取締法により使用者責任が問われます。)
- ・ 散布圃場の周囲へのドリフト(飛散)に注意しましょう。  
(可能性がある場合は必要な措置を講じるよう努めること)
- ・ 防除は生育や病害虫の発生予察に注意して適期におこないましょう。
- ・ 園地環境(防風樹の整備・草刈りの徹底)をよくしましょう。
- ・ 散布作業には、マスク、手袋等安全防除衣を着用しましょう。

【キウイフルーツに登録のある主な除草剤】 ※この薬剤以外使用しないこと！				
除草剤名	使用量 ml/10a	適用雑草名	使用時期	使用回数
ラウンドアップマックスロード	500～1000ml	多年生雑草	収穫 7日前まで	3回以内

※ 散布量はS. Sによる10a当たりの散布量で、( )内は手散布の場合を示しています。